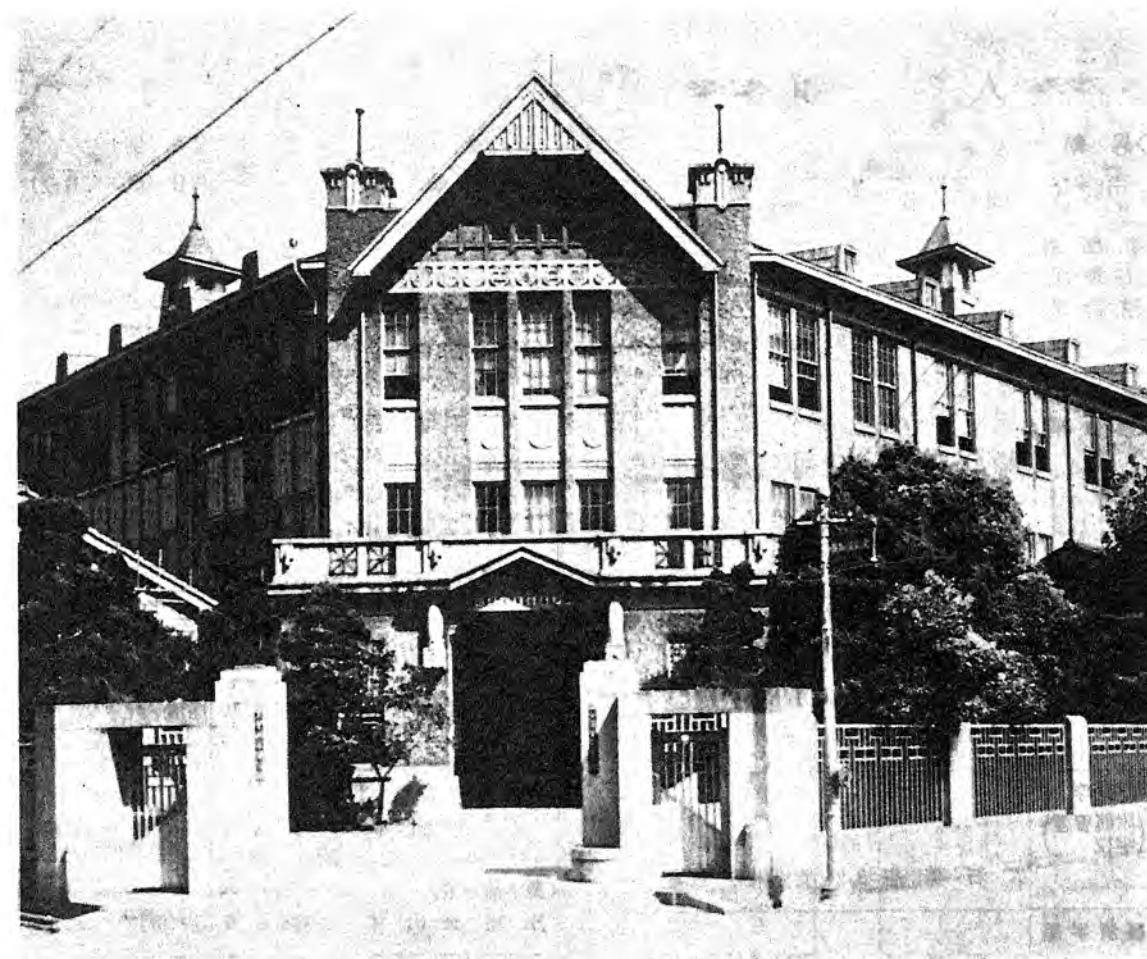


神戸大学学報

No. 276

1979. 9 庶務部庶務課発行



発祥の地を訪ねて ③《神戸高等工業学校—大正11年4月～昭和19年3月》

本校は、大正10年12月、文部省直轄諸学校官制の一部改正により設置され、大正11年4月神戸市水笠通1丁目（現在の神戸市長田区水笠通1丁目）に開校した。当時の設立費支出内訳は、兵庫県501,879円60銭、神戸市596,120円40銭及び政府361,900円であった。

なお、本校は、現在の工学部の前身である。（写真は、大正11年4月に竣工した正面玄関及び本館。）

（目次は最終ページに掲載）

法 令

◇省 令

文部省令第20号 学校教育法施行規則の一部を
改正する省令

(54. 8. 24官報)

◇告 示

文部省告示第143号 学校教育法施行規則第69
条第1号の規定による指
定に関する件

(54. 8. 24官報)

人 事

◇異 動

所属部局 官 職	氏 名	発令 月 日	異 動 内 容 (異動前の所属官職)
事務局 〔経 理 部〕 (主 計 課)	谷 掛 昌 良	8. 31	辞職 (文部事務官)
学 生 部 (厚 生 課)	織 戸 保 之	9. 1	出向〔鳥取大学経理 部経理課〕 (文部事 務官)
保健管理 センター 技術補佐員	浜 重 富士美	8. 20	採用
文 学 部 教 授	小 林 万 治	9. 1	昇任 (助教授)
〃	寛 寿 雄	〃	〃 (〃)
教育学部 (附属養護 学校)	広 石 美 恵	8. 21	育児休業 (教諭)
経 済 学 部	荻 阪 咲 子	8. 31	辞職 (事務補佐員)
経 営 学 部	市 原 季 一	8. 3	死亡 (教授)
理 学 部 教 授	朝 山 邦 輔	9. 1	昇任 (大阪大学基礎 工学部助教授)

文部技官 〔教務職員〕	松 村 政 博	9. 1	採用
〃	長 谷 寧	8. 26	8月25日限り退職 (教務補佐員)
〃	石 沢 俊 樹	〃	〃 (〃)
医 学 部 教 授	斉 藤 洋 一	9. 1	昇任 (東北大学医学 部助教授)
助 手	長谷井 和 義	〃	採用
〃	澄 川 康 祐	8. 31	辞職 (助手)
医 学 部 附 属 病 院	三 田 俊 彦	8. 31	辞職 (講師)
助 手	永 田 均	9. 1	採用
〃	坪 井 誠 吉	〃	〃
〃	田 港 朝 彦	〃	休職 (助手)
第一外科部長	斉 藤 洋 一	〃	併任 (医学部教授)
医学部教授	広 畑 和 志	〃	併任解除 (第一外科 部長)
泌尿器科病 棟医長	彦 坂 幸 治	〃	命 (医学部助手)
(薬 剤 部)	岩 森 繁 夫	〃	採用
技術補佐員	小 西 明	8. 31	辞職 (技術補佐員)
(看 護 部)	宮 崎 みゆき	9. 1	採用
看 護 婦	藤 沢 怜 子	〃	〃
〃	西 村 君 代	8. 20	辞職 (看護婦)
〃	森 田 千恵子	8. 31	〃 (〃)
教 養 部	角 野 康 郎	9. 1	採用
助 手	〃	〃	〃
附属図書館 (理学部分館)	辻 原 栄	8. 14	8月13日限り退職 (事務補佐員)
(農学部分室)	山 本 修	9. 1	命 (教授)

*改 姓

部 局	官 職	氏 名	改 姓 年 月 日	旧 姓
経済学部	事務補佐員	〃	54. 8. 6	〃

◇海 外 渡 航

◎出 発

所 属	職 名	氏 名	渡 航 先	渡 航 目 的	渡航期間	備 考
文 学 部	助教授	北原 淳	タイ	日タイ社会の構造の比較研究のため (予備調査)	54. 8. 18 54. 9. 21	出 張
〃	教 授	杉之原寿一 (学部長)	タイ、 香港	日タイ社会構造の比較研究に関する 打ち合せ及び資料の収集	54. 8. 20 54. 8. 31	研 修
教育学部	助教授	東山 明	フランス、ドイツ連邦 共和国、イタリア、ギ リシャ、オランダ	西洋の美術品・遺跡の調査・研究及 び文献資料の収集のため	54. 8. 6 54. 9. 4	〃
法 学 部	〃	岸田 雅雄	アメリカ合衆国	アメリカ会社法、証券取引法、会計 学研究のため	54. 8. 14 56. 8. 13	〃
経済学部	教 授	池本 清	タイ	日泰経済シンポジウムに出席	54. 8. 8 54. 8. 14	出 張
理 学 部	〃	藤岡 伍郎	アメリカ合衆国	中性微子反応による新粒子の研究	54. 8. 20 54. 9. 6	〃
〃	〃	安川 克己	西サモア共和国、ニュ ージーランド、フラン ス共和国	太平洋の三大火山島群のホット・ス ポット説を基礎とした古地磁気学的 調査を行うため	54. 8. 11 54. 10. 17	〃
〃	教務補 佐員	森永 速男	〃	〃	〃	〃
〃	助教授	中村 昇	アメリカ合衆国	隕石中の微量元素の研究	54. 8. 8 54. 10. 10	研 修
〃	〃	利根川 孝	ドイツ連邦共和国、 スイス	中性子回折・磁気国際会議、磁気国 際会議に出席及び低次元磁性体の研 究のため	54. 8. 26 54. 9. 9	〃
医 学 部	教 授	木幡 陽	アメリカ合衆国、ドイ ツ連邦共和国、フィン ランド連合王国	ゴードン会議 (米国) IUPAC (フィンランド)並びに国際複合糖質 シンポジウムに出席及び複合糖質の 構造と機能に関する研究交換のため	54. 8. 2 54. 9. 13	出 張
〃	〃	堀田 進	インドネシア	医学研究国際交流に関する打合せの ため	54. 8. 12 54. 8. 18	〃
〃	〃	岡本 彰祐 (学部長)	〃	〃	〃	〃
〃	〃	福崎 恒	〃	〃	〃	〃
〃	助 手	伊藤 芳久	〃	〃	〃	〃
〃	教 授	堀田 進	ソヴィエト連邦	第14回太平洋学術会議に出席、講演 並びに微生物学に関する研究交換の ため	54. 8. 24 54. 8. 31	研 修
〃	助 手	石川 斉	ドイツ連邦共和国、ス イス、連合王国、フラ ンス	第9回欧州リウマチ学会に出席及び 整形外科学に関する研究交換のため	54. 8. 29 54. 9. 20	〃
附属病院	〃	武部 恭一	〃	〃	〃	〃

附属病院	助手	谷口 洋	スウェーデン、ドイツ民主共和国、オーストリア、ハンガリー、チェコスロヴァキア、スイス	第10回国際糖尿病学会に出席並びに内分泌代謝に関する研究交換のため	54. 8. 31 } 54. 9. 23	研修
工学部	教授	中川 隆夫	連合王国、ドイツ連邦共和国、フランス、スイス	材料の力学的挙動に関する国際会議出席並びに地震による低サイクル疲労損傷研究のため	54. 8. 11 } 54. 9. 7	出張
"	助教授	荒井 健次	イタリア、スイス、ドイツ連邦共和国、フランス	第3回高電圧工学国際会議出席並びに高電圧放電現象に関する研究調査のため	54. 8. 23 } 54. 9. 18	研修
教養部	教授	長谷川正知	アメリカ合衆国、カナダ	第3回モリブデン国際会議の出席及びニューヨーク大学、カナダのサイモン・クレーザー大学において赤外分光法による触媒の研究を視察するため	54. 8. 13 } 54. 8. 31	"
"	助教授	曾谷 紀之	"	"	"	"

◎帰 国

所 属	職 名	氏 名	渡航期間	備考	所 属	職 名	氏 名	渡航期間	備考
文学部	助教授	池 上 忠 治	54. 7. 23 } 54. 8. 6	研修	医学部	助教授	守 殿 貞 夫	54. 5. 1 } 54. 8. 31	研修
法学部	教授	大 竹 秀 男	54. 5. 13 } 54. 8. 11	"	附属病院	講師	亀 野 靖 郎	54. 7. 27 } 54. 8. 19	"
経済学部	"	三木谷 良 一	54. 2. 12 } 54. 8. 10	出張	工学部	教授	松 本 恒 隆	54. 7. 23 } 54. 8. 5	出張
理学部	助教授	平 松 豊 一	54. 5. 11 } 54. 8. 10	"	"	助教授	安 藤 四 一	54. 7. 18 } 54. 8. 31	研修
"	"	伊勢崎 修 弘	54. 6. 26 } 54. 8. 19	"	農学部	助手	保 田 茂	54. 7. 28 } 54. 8. 18	"
"	教務補佐員	石 澤 俊 樹	"	"	教養部	講師	森 本 まゆみ	54. 6. 23 } 54. 8. 31	"
"	"	長 谷 寧	"	"	(注)「◎出発」の項に掲げた者のうち8月中に帰国した者は記載を省略した。				

≡≡≡ 学

事 ≡≡≡

◇学位取得

このたび、本学教官に対し、当該大学より学位が下記のとおり授与されました。論文題目は次のとおりです。

氏 所 属 職 名	学位の種類	授与年月日 授与大学名	論 文 題 目
増 田 良 一 (工学部助教授)	工学博士	昭和54年7月23日 京 都 大 学	Silica Gel as A New Versatile Synthetic Tool in Organic Synthesis

◇昭和54年度国際研究集会派遣研究員(第2次)の決定について

所 属	職 名	氏 名	開催地(国名)	研 究 集 会 名	開催期間
法学部	教授	芝 原 邦 爾	ハンブルグ(ドイツ連邦共和国)	第12回国際刑法会議	54. 9. 16 } 54. 9. 22
工学部	教授	前 川 純 一	ワルシャワ(ポーランド)	騒音制御工学国際会議	54. 9. 11 } 54. 9. 14
農学部	教授	松 中 昭 一	シドニー(オーストラリア)	第7回アジア太平洋雑草学会会議	54. 11. 26 } 54. 11. 30

◇第10回神戸大学公開講座の開講について

第10回神戸大学公開講座の開講式が9月1日(土)午後1時30分から本学農学部大教室(C 101教室)において行われました。

まず、開講式において、須田学長があいさつの言葉を述べられた後、引き続き杉村新理学部教授による講義が始められました。

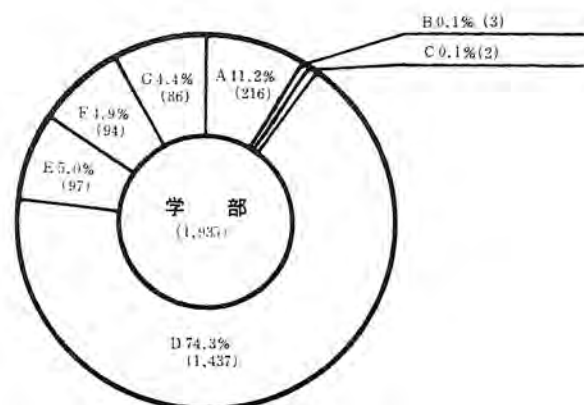
なお、本講座は当日の2講義を含めて11月17日(土)まで毎週土曜日計20講義が開催されます。

(講義日、題目等については本誌No. 275、(54.8)参照)



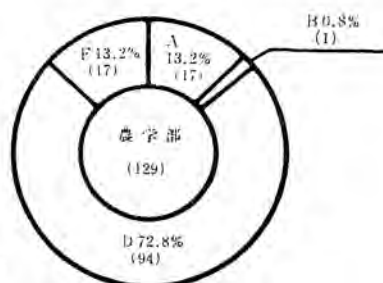
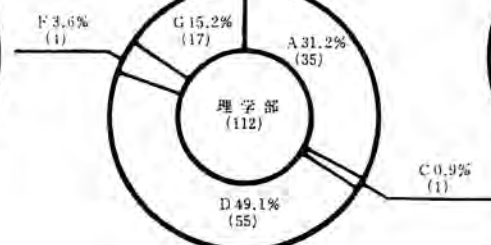
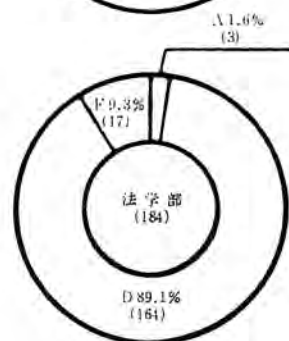
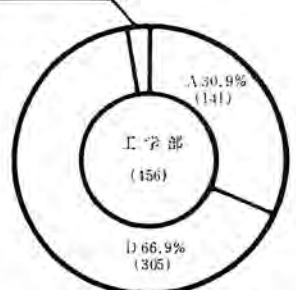
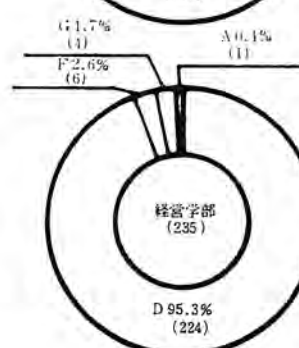
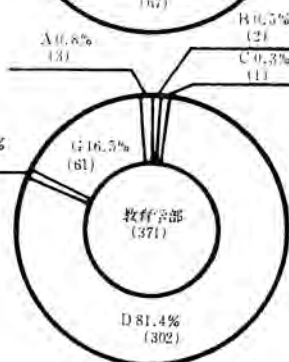
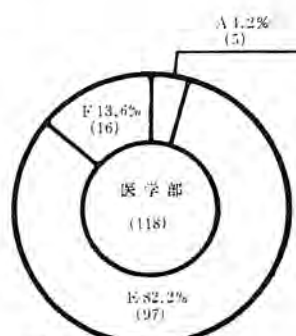
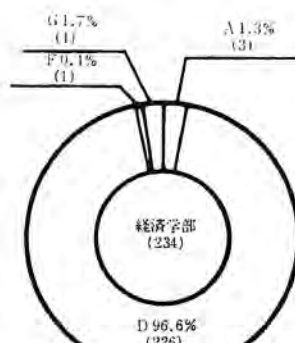
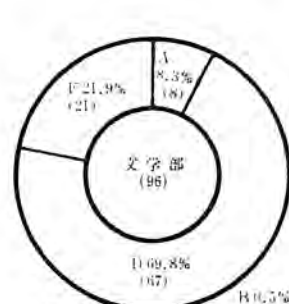
◇昭和53年度神戸大学卒業者の卒業後の状況調べ（昭和54年5月1日現在）

—学 部—

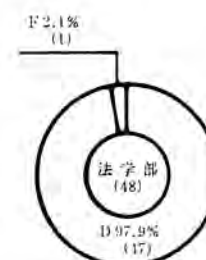
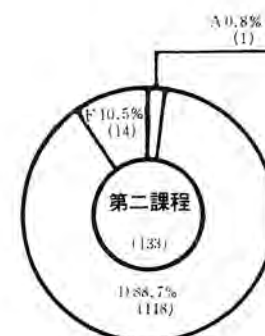
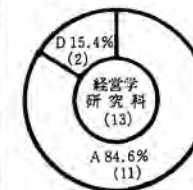
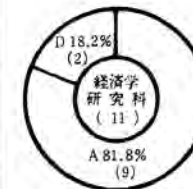
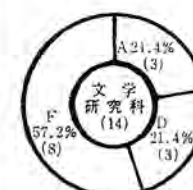
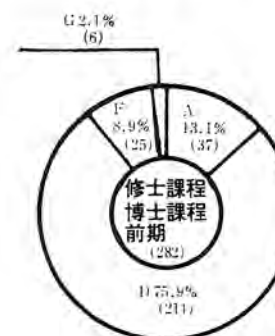
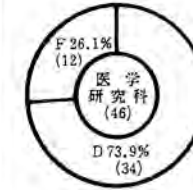
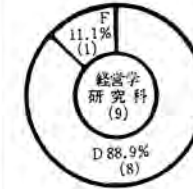
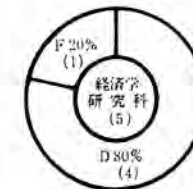
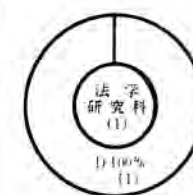
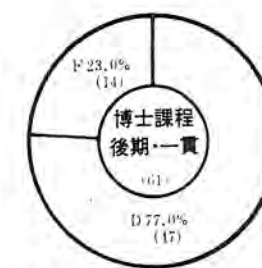


進 学 者	大学院研究科	A
	大学学部(本科)	B
	専 攻 科	C
就 職 者		D
臨 床 研 修 医		E
無 業 者		F
そ の 他		G

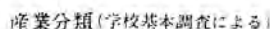
グラフ中の()は人数を示す。
上記の区分は、学校基本調査による。



—第二課程—

—修士課程—
(博士課程前期)
含む。—博士課程—
(博士課程後期)
含む。

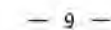
部——



Mは、A～I以外の産業及び分類
不能又は不明のものをいう。

—博士課程—

(博士課程後期)
(含む。)



研 修 等

◇昭和54年度神戸大学掛長研修

目 的：掛長の職にある者に対し、その職務を
自覚させ、業務の改善を図ることを目
的とする。

期 間：昭和54年 8 月 6 日～8 日

場 所：本部庁舎及び関西地区大学セミナーハ
ウス



参加者：次のとおり

部 局	職 名	氏 名
庶 務 部	総 務 掛 長	岸 田 武 夫
"	給 与 掛 長	坂 元 敏 恭
経 理 部	管 財 掛 長	加 地 博
"	出 納 掛 長	清 原 健 貳
施 設 部	企 画 掛 長	森 次 敬 典
学 生 部	学 生 掛 長	唐 津 功
"	保 健 掛 長	桜 井 淳 雄
文 学 部	庶 務 掛 長	藤 原 澄 春
教 育 学 部	学 生 掛 長	西 本 年 行
"	用 度 掛 長	梅 木 忠 和
"	教 務 掛 長	杉 山 繁 実
法 学 部	第 二 課 程 掛 長	藤 本 英 喜
"	庶 務 掛 長	岩 切 隆 生
"	会 計 掛 長	森 健 治

経 済 学 部	学 生 掛 長	植 木 忠 節
"	会 計 掛 長	畑 浩 一
"	庶 務 掛 長	平 野 幸 雄
"	教 務 掛 長	大 野 明
経 営 学 部	会 計 掛 長	青 木 幹 雄
"	第 二 課 程 掛 長	伊 藤 功
理 学 部	会 計 掛 長	谷 口 宗 弘
"	教 務 学 生 掛 長	鬼 本 鉄 也
医 学 部	"	藤 井 勝 二
工 学 部	"	福 田 睦 昭
"	用 度 掛 長	西 馬 重 夫
"	庶 務 掛 長	堀 毛 雅 章
農 学 部	"	吉 留 政 文
附 属 農 場	事 務 掛 長	高 見 勉
教 養 部	第 二 課 程 掛 長	石 川 富 士 雄
"	教 務 掛 長	妹 尾 正 巳

教 養 部	経 理 掛 長	斉 藤 正 三
研 究 所	庶 務 掛 長	坪 内 陽 典
"	会 計 掛 長	足 立 収
"	研究助成掛長	中 間 潔
附 属 病 院	照 査 掛 長	塚 田 利 信
"	用 度 掛 長	池 田 照 政
"	収 入 掛 長	高 木 一 成
"	附 属 学 校 長	小 倉 源 三
明 石 高 専	人 事 係 長	杉 本 正 治
淡 路 青 年 の 家	庶 務 係 長	山 本 晴 茂

◇昭和54年度神戸大学教務事務電算化運用要員研修会

目 的：教務事務データベースシステム運用
のための基幹要員を養成することを目
的とする。

期 間：昭和54年 5 月 11 日～8 月 10 日

期間中27回

場 所：本学計算センター

参加者：次のとおり

部 局	掛 名	氏 名
庶 務 部	総 務 掛	佐 伯 義 彦
"	給 与 掛	井 上 正
経 理 部	総 務 掛	松 岡 実 夫
"	出 納 掛	寺 田 明
学 生 部	教 務 掛	廣 岡 克 己
文 学 部	教 務 学 生 掛	水 谷 博 喜
教 育 学 部	教 務 掛	平 尾 晴
法 学 部	教 務 学 生 掛	今 津 清
経 済 学 部	教 務 掛	原 浦 實 裕
経 営 学 部	教 務 学 生 掛	影 浦 淳
理 学 部	"	大 和 俊
医 学 部	"	野 口 和 博
工 学 部	"	鷹 濱 和 任
農 学 部	"	田 代 和 博
教 養 部	教 務 掛	野 上 清 昭
"	"	安 藤 寛
"	"	高 杉 孝 典
経 済 経 営 研 究 所	研究助成掛	吉 田 清 泰
附 属 図 書 館	総 務 掛	石 川 定 弘
附 属 病 院 課	照 査 掛	川 東 登
医 事 課	医 事 掛	大 伴



◇昭和54年度大学図書館職員長期研修

期 間：昭和54年8月6日～8月31日

会 場：東京大学附属図書館ほか

主 催：文部省及び東京大学

参加者：附属図書館六甲台分館

調査運用掛長 田 村 潤 二

◇昭和54年度図書館等職員著作権実務講習会

期 間：昭和54年8月28日～8月29日

会 場：神戸大学教育学部

主 催：文化庁

参加者：次のとおり

所 属 部 局	氏 名
経済経営研究所	前 田 哲 治
"	永 村 典 子
"	鹿 島 利 子
附属図書館	
六甲台分館	北 村 文 男
教育学部分館	石 定 淑 子
工学部分館	鈴 川 克 実
"	岡 英 子
"	栗 田 環 子
医学部分館	森 友 洋 子
"	敏 安 秀 夫
"	原 田 賢 次
教養部分館	高 階 時 子
"	小 倉 生 栄
"	尼 川 洋 子
"	今 岡 敦 子
"	竹 中 京 子
"	足 立 恵美子
"	井 上 節 子
農学部分室	岸 原 弘 子



諸 報

◇訃 報



神戸大学名誉教授西村勝比古氏は、去る8月6日（月）午前3時50分、急性腎不全のため、東京中野の浄風園病院で逝去されました。享年65歳でした。

同氏は、大正2年山口県に生まれ、昭和13年京都帝国大学法学部を卒業、東亜研究所、総合アメリカ研究所などの調査機関に勤務されたのち、同21年日本大学予科、24年浪速大学を経て、25年神戸大学文学部助教授として本学に着任され、32年御影分校教授、39年教養部発足とともに同教授、52年4月定年退官されるまで、教養課程及び文学部の社会学の講義を担当されました。

この間、35年には御影分校主事、同評議員として御影・姫路両分校の統合に尽力されたのを初め、37年からは3期6年にわたって学生部長を務められ、学寮の増設、学生会館の新設など、大学運営にも大きな功績を残されました。

また、応援団顧問、山岳部長、卓球部長等を務められ、課外活動の面でも学生指導に大きな足跡を残されました。

退官後は、大学院博士課程を新設した創価大学文学部に基幹教授として迎えられ、学会での今後の御活躍を期待されていたさなかの急逝でした。

同氏は社会学、特に理論社会学や現代社会論に造詣深く、戦後アメリカ社会学の導入が活発になった時期に、いち早くその批判的摂取の方向を示された『現代社会学の根本問題』（31年）、『社会体

系論』（32年）、『大衆社会論』（33年）等の著作は今日でも後学者の必読文献とされています。

なお、生前の功績により正四位勲三等旭日中綬章が贈られました。

（教養部教授 陸井四郎）

◇日本船用機関学会賞の受賞について



5月23日、東京商船大学で開催された日本船用機関学会第14期通常総会において行われた授賞式で、本学赤川浩爾工学部教授に『船用ボイラの信頼性ある自然循環回路の

設計実績の研究』に対して日本船用機関学会賞が贈呈されました。

この賞は、船用機関機器に関する技術の向上についての業績が特に優秀な者に贈られるもので、その業績は ISME TOKYO '78（国際船用機関学会）及び日本船用機関学会誌に中原祐介氏、長嶋清司氏（三菱重工株式会社）との共著で、発表されました。

◇日本理科教育学会第29回全国大会

日本理科教育学会第29回全国大会が8月25日（土）、26日（日）の両日にわたり、本学教育学部において開催されました。最近、急速に高まってきた理科教育への関心の深さの現われであると思われますが、大会参加者は延べ1,000人、研究発表187件で、本大会始めて以来一番多くの参加者、発表件数となりました。

初日は、B 202教室で開会式、総会に続いて名古屋大学水圏科学研究所長北野康氏の「生命と海洋の起源と進化」の特別講演が行われました。午後から26日（日）午前中にかけて8会場に分かれ、それぞれの研究発表が行われ、白熱した討議があり、理科教育に関するいろいろな問題点が浮き彫りにされました。また、26日（日）午後からは、

B 202教室で「理科嫌いをなくす理科指導—新教育課程をふまえて—」というテーマでシンポジウムが行われました。

大会は多数の研究発表、参加人数にもかかわらずスムーズに行われ、成功裡に終わりました。



—教育学部—

◇農学部キャンパスの美化運動

農学部では、8月31日（金）午後、教職員による構内草刈り作業を実施しました。

手鎌を携えて参加したのは、教職員に学生を加えて総勢およそ90名、暑い日ざしの中を2時間頑張って、相応の成果をあげることが出来ました。

作業を終えた人達は、不馴れな仕事による疲労感と、いささか身辺を美化したという充足感をもって、懇親会場へ歩を運びました。

—農学部—



◇昭和54年度学内レクリエーション行事「魚釣大会」の実施結果について

学内レクリエーション行事として8月12日(日)午前6時15分から午後2時まで垂水沖において魚釣大会が開催されました。

84名の参加者を得て真夏の陽射しのもと日頃の腕を競い合いました。

結果は魚種を問わず総重量により判定され次のとおりとなりました。

優勝	庶務部	井上 正	5.10Kg
準優勝	医学部	和住 光夫	4.75Kg
第三位	医学部	野口 和俊	3.60Kg



—人事課—

◇他大学所在地変更等

9月1日から立命館大学の下記部局が広小路学舎から衣笠学舎へ移転しましたのでお知らせします。

移転部局 総務部, 財務部, 教学部

新所在地

〒603 京都市北区等持院北町56番地の1

TEL (075) 463-1131 (代表)

◇職員の住所変更等

○新任者住所

理・電波分光学 朝山 邦輔

理・電波分光学 松村 政博

医・整形外科 前田 昌穂

医・整形外科 松田 俊雄

医・精神神経科学 三田 達雄

養・地学 寺門 靖高

○住所・住居表示変更

p. 34, 40 杉山 明男

p. 46 梶田 幸恵

p. 74 敏森 広志

p. 162 金好 光子

p. 162 笠原 肇

p. 181 川口 正昭

p. 183 河野 潤一

○電話新設・変更

p. 73 荻野 寿

p. 75 東 政文

電話番号取消し

◇昭和54年度神戸大学職員録正誤表

頁	人(行)目	誤	正
5	下8	山木戸 克巳	山木戸 克己
9	上4	山木戸 克巳	山木戸 克己
20	下4	櫻井 淳雄	櫻井 淳雄
60	下4	〒673	〒673-01
91	下5	丸尾 享	丸尾 享
94	上10	〒663 西宮市甲子園9番町15 甲子園合同 宿舎418号	〒674 明石市魚住町清水字谷 通162-20
143	上8	河野 静子	河田 静子
167	上3	三好 旦六	三好 旦六
197	上3	〃 櫻井 泰	講師 櫻井 泰
213	上4	マンション s+t	マンションふさ
221	右上4	永上 雄三	氷上 雄三
256	左上	古館 隆	古館 隆
259	左下8	三好 旦六	三好 旦六

◇訂正

学報No	頁	誤	正
274 (54.7)	17	右側下から3行目 勲三等	勲四等
275 (54.8)	1	下から2行目 昭和3年3月	昭和4年3月



目

次

◇法令..... 2	◇諸報.....12
◦省令 ◦告示	◦ 昭54年度神戸大学教務事務電算化運用要 員研修会
◇人事..... 2	◦ 昭54年度大学図書館職員長期研修
◦異動 ◦海外渡航	◦ 昭54年度図書館等職員著作権実務講習会
◇学 事..... 5	
◦学位取得	◦ 昭54年度神戸大学卒業生の就職状況調べ
◦ 昭54年国際研究集会派遣研究員（第2次） の決定について	
◦ 第10回神戸大学公開講座の開講について	
◦ 昭53年度神戸大学卒業生の卒業後の状況 調べ	
◦ 昭53年度神戸大学卒業生の就職状況調べ	
◇研修等.....10	
◦ 昭54年度神戸大学掛長研修	